

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

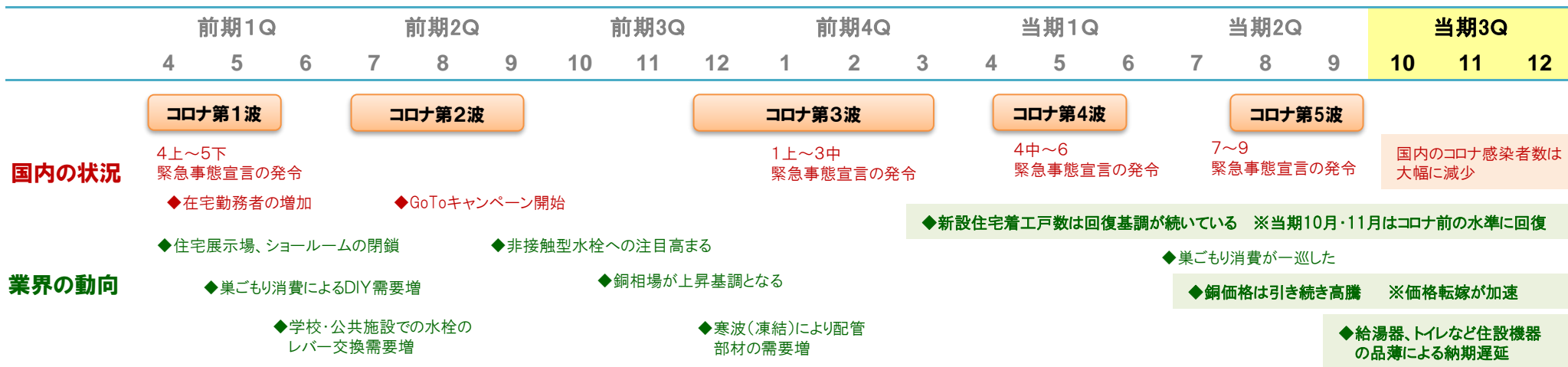
証券コード:6230

SANEI 株式会社

2022年1月25日

## 2022年3月期 第3四半期 トピックス

- 2021年10月～12月はコロナ感染者数が落ち着き、経済・消費活動は緩やかに持ち直している。
- 新設住宅着工戸数は2021年3月より9ヶ月連続で前年を上回っており、直近ではコロナ前（2019年並み）の水準に回復傾向。
- 素材価格（銅相場等）は高止まりの状態が続き、資材調達価格の上昇が顕著になっている。



## 経済・業界の概況

- ◆国内のコロナの感染状況が落ち着き、経済・消費活動は緩やかに持ち直している
- ◆新設住宅着工戸数は回復基調が続いている
- ◆半導体不足や海外のコロナ感染拡大により、給湯器やトイレなど一部の住設機器が品薄状態

## 売上

- ◆非接触型水栓の需要は堅調に続き、高機能商材などの新製品が好調
- ◆住宅着工戸数の回復により現場需要が増加  
住宅設備機器メーカーの受注も増加

## 利益

- ◆銅相場等、素材価格が高騰しており、材料費の上昇が依然として続いている  
※一部製品で価格転嫁を実施
- ◆非接触型など高付加価値製品の販売が好調により、利益に貢献
- ◆生産性向上による原価低減

## 2

## 損益の概要

銅相場の高騰など材料価格の上昇が利益を圧迫したが、新設住宅着工戸数の回復による売上拡大や非接触型水栓などの高付加価値製品の拡販、生産性向上により増収増益を達成

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減	前年比
売上高	16,042	100.0%	17,049	100.0%	+1,006	+6.3%
売上総利益	5,221	32.5%	5,313	31.2%	+91	+1.7%
営業利益	1,078	6.7%	1,135	6.7%	+56	+5.2%
経常利益	1,065	6.6%	1,152	6.8%	+86	+8.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	654	4.1%	761	4.5%	+106	+16.3%

1株当たり四半期純利益 332円82銭

332円73銭

期中平均株式数 1,967,563株

2,289,000株

## 3

## 四半期業績の推移

(単位：百万円)

前期 2021年3月期	年間	前期1Q	前期2Q	前期3Q	前期4Q
売上高	22,182	5,067	5,291	5,682	6,139
(年間売上構成比)	100%	22.8%	23.9%	25.6%	27.7%
累計	22,182	5,067	10,359	16,042	22,182
(進捗率)	100%	22.8%	46.7%	72.3%	100.0%
営業利益	1,612	259	390	428	533
経常利益	1,593	269	386	408	527
累計	1,593	269	656	1,065	1,593
(進捗率)	100%	16.9%	41.2%	66.9%	100.0%
四半期純利益	1,000	181	275	197	345
累計	1,000	181	457	654	1,000
(進捗率)	100%	18.2%	45.7%	65.5%	100.0%

当期 2022年3月期	年間 (業績予想)	当期1Q	当期2Q	当期3Q
売上高	23,200	5,587	5,471	5,990
(年間売上構成比)	100%	24.1%	23.6%	25.8%
累計	23,200	5,587	11,058	17,049
(進捗率)	100%	24.1%	47.7%	73.5%
営業利益	1,650	354	338	442
経常利益	1,630	333	371	447
累計	1,630	333	705	1,152
(進捗率)	100%	20.5%	43.3%	70.7%
四半期純利益	1,100	211	253	297
累計	1,100	211	464	761
(進捗率)	100%	19.2%	42.2%	69.2%

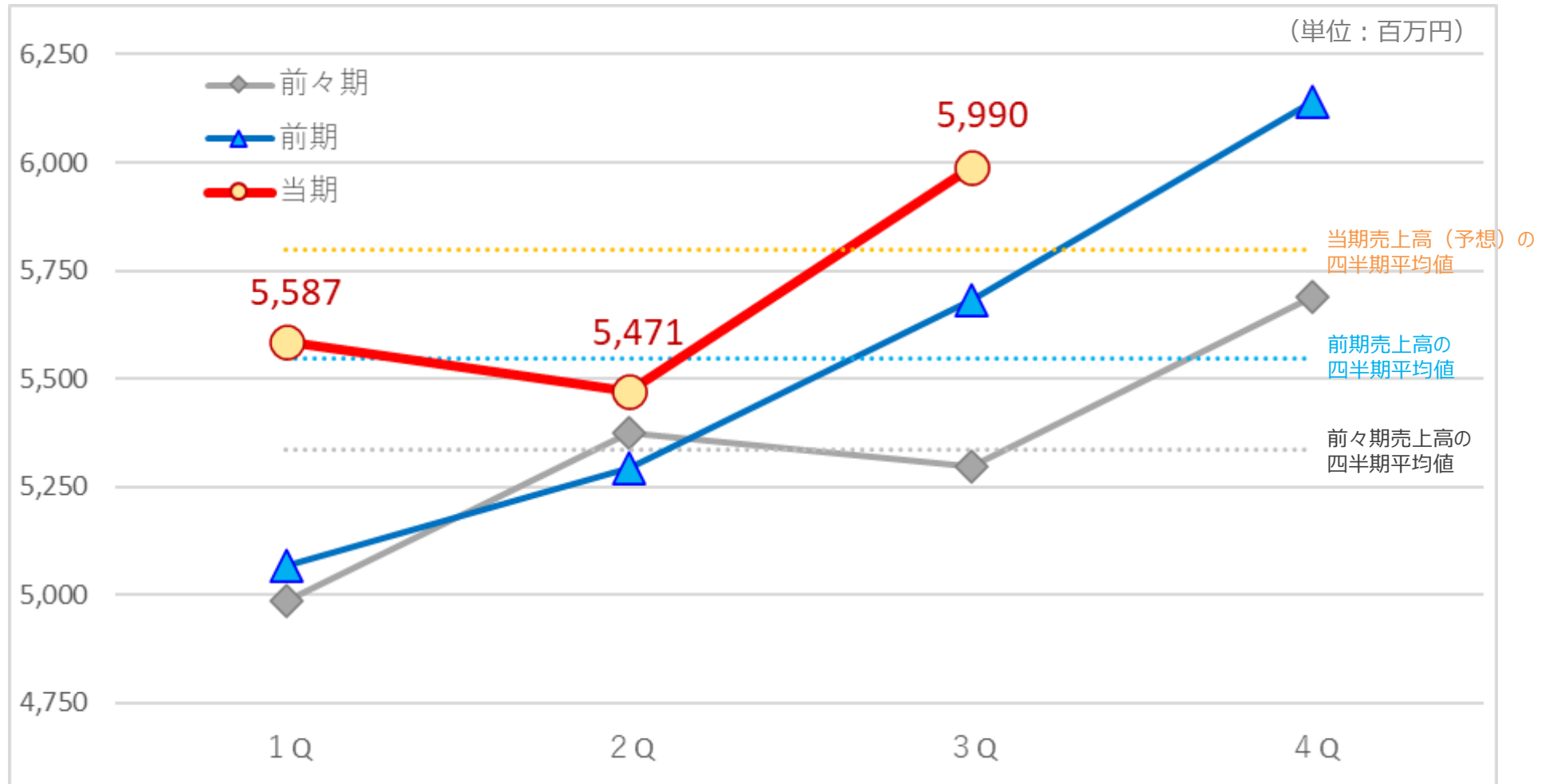
前期3Q比較では、増収増益を達成。

当期の四半期単位では、売上高・利益ともに、最も良い業績となった。

## 4

## 売上高の四半期推移(前期・前々期比較)

売上高は例年の傾向通り、第3四半期に入り増加。累計では前年同期比+6.3%となり、2021年5月10日公表の通期業績予想の範囲内で推移



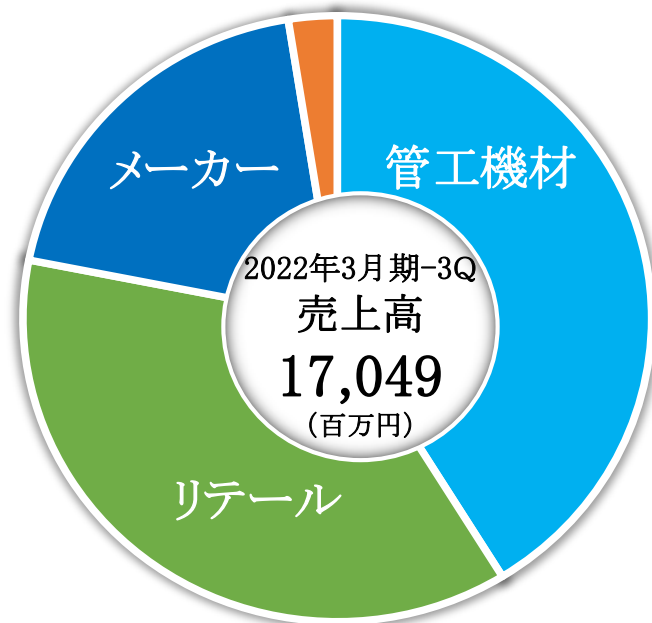
## 5

## 販売ルート別の動向

- 管工機材** : 新設住宅着工戸数の増加による、現場物件を中心とした市場の回復。非接触型水栓、高機能商材などの提案が引き続き好調。
- リテール** : コロナ禍を契機としてE C市場の拡大が続く。ウルトラファインバブル製品や高機能シャワーなどの新製品の販売が好調。
- メーカー** : 新設住宅着工戸数の増加に伴い、住宅設備メーカーからの受注が回復。新規採用製品の決定。

2022年3月期 第3四半期  
累計の売上構成

参考：売上高構成比の推移



	前々期	前期	当期		
	年間	年間	1Q	2Q	3Q
■ 管工機材 ルート	↓	↑	→	→	→
■ リテール ルート	→	↑	→	↓	↑
■ メーカー ルート	↑	↓	↑	↑	→

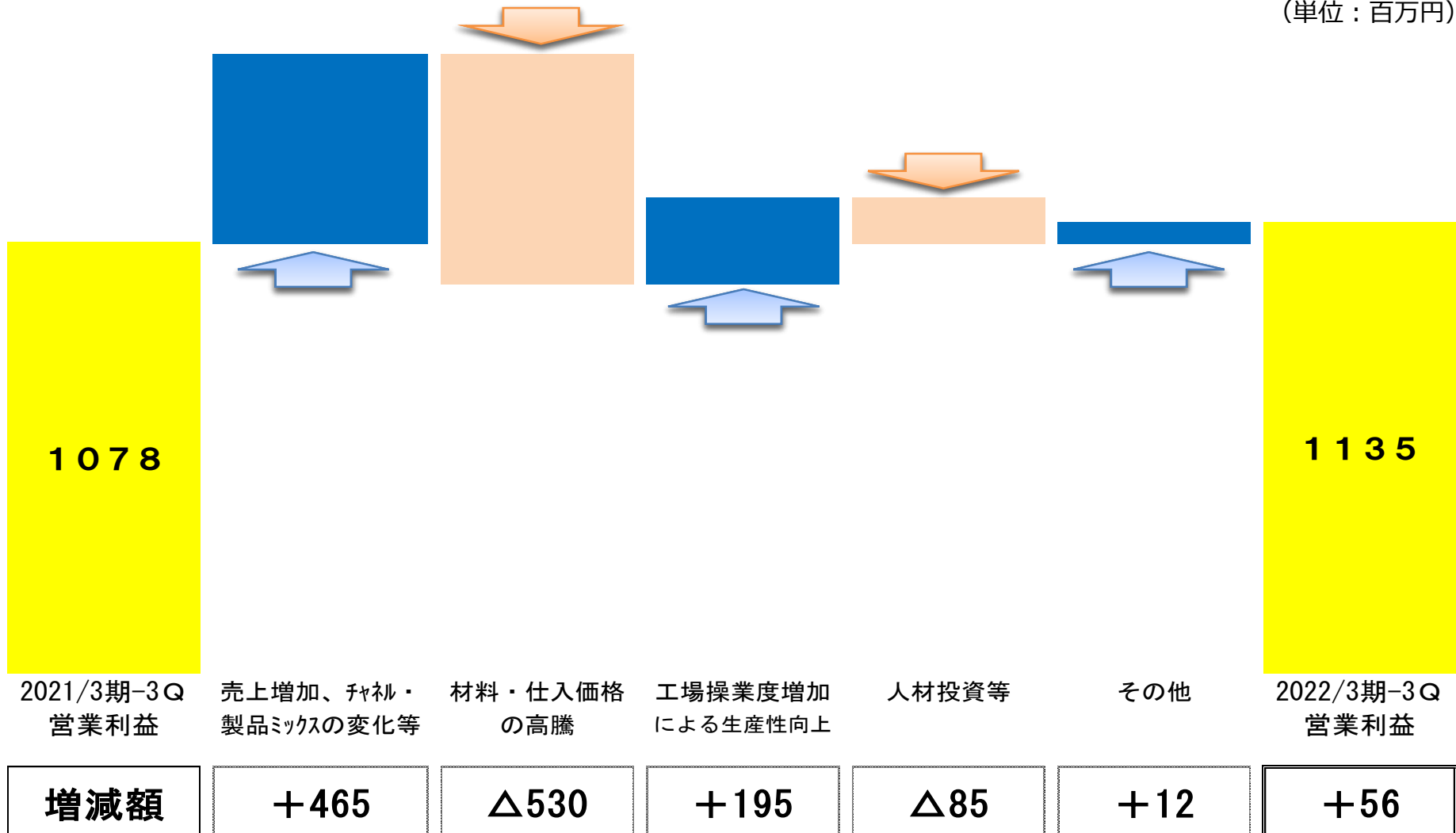
- ↑ 構成比が前期より上昇
- 構成比が前期とほぼ横バイ
- ↓ 構成比が前期より下降

## 6

## 営業利益の増減要因

営業利益の増減要因(前年差異+56百万円の内訳)

(単位:百万円)



# 損益の概要(まとめ)

(単位：百万円)

	2021年3月期	
	3Q累計	構成比
売上高	16,042	100.0%
売上総利益	5,221	32.5%
営業利益	1,078	6.7%
経常利益	1,065	6.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	654	4.1%

- ・非接触型水栓、高機能商材など、高付加価値製品の拡販
- ・新設住宅着工戸数の回復による受注増加
- ・EC市場の拡大

- ・チャネル・製品ミックスの変化
- ・素材価格(銅相場)高騰による材料費増加  
※一部製品にて価格転嫁を実施
- ・操業度増加による生産性向上
- ・販売管理費比率の改善  
※前期25.8%⇒当期24.5%へ改善

営業外収益・費用

- ・持分法による投資利益  
※2021年7月に株式会社水生活製作所の株式を30%取得
- ・為替差損を計上

特別利益・損失

- ・前期は有価証券売却益を計上

法人税等調整額

- ・前期に外形標準課税適用法人となり、法人税等調整額89百万円を計上

2022年3月期			
3Q累計	構成比	増減	前年比
17,049	100.0%	+1,006	+6.3%
5,313	31.2%	+91	+1.7%
1,135	6.7%	+56	+5.2%
1,152	6.8%	+86	+8.1%
761	4.5%	+106	+16.3%



## 8

## 連結BS(資産・負債・純資産)

原材料費の高騰により、棚卸資産が増加傾向。中間申告の納税や賞与の支払により負債はやや減少し、自己資本比率は上昇。

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年3月期 第3四半期			
	金額	金額	増減	前年比	主な増減要因
資産	19,459	19,998	+538	+2.8%	流動資産の増加は主に棚卸資産の増加によるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上債権 △ 663</li> <li>■ 棚卸資産 +1,059</li> </ul>
負債	8,959	8,878	△81	△0.9%	負債はやや減少。主な増減は次の通り <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕入債務 +412</li> <li>■ 未払税金等 △494</li> </ul>
純資産	10,500	11,120	+620	+5.9%	自己資本比率は55.6%に上昇 (2021年3月期から+1.6%) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 配当の支払額 △206</li> <li>■ 四半期純利益 +761</li> </ul>

「ALWAYS WITH JOY」

SANEI

SANEI 株式会社

<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。